**老年看護援助論Ⅰ シラバス**

**1. 授業の目的**

高齢者の特性を理解し、老年期における身体的・心理的・社会的変化を踏まえた日常生活援助技術を習得することを目的とする。高齢者が生活の質（QOL）を維持しながら、可能な限り自立した生活を送れるよう支援するための知識と技術を身につける。

**2. 授業の目標**

1. 高齢者の加齢変化を理解し、日常生活援助技術の基礎を学ぶ。
2. 高齢者の基本的ニーズをアセスメントし、適切な看護援助を提供できる。
3. 高齢者の尊厳を尊重し、安全で快適な日常生活を支援する方法を学ぶ。
4. 実践的な援助技術を習得し、臨床現場での応用力を養う。

**3. 授業方法**

本講義は以下の方法を組み合わせて実施する。

* **講義**: 高齢者の特性や援助技術に関する理論的知識を学ぶ。
* **グループワーク**: 事例検討を通してアセスメント能力や看護計画立案能力を養う。
* **実技演習**: 具体的な援助技術（食事介助、移乗、排泄援助など）を実践する。
* **ディスカッション**: 各テーマについて討議し、実践的な理解を深める。
* **振り返り**: 各回の学習内容を振り返り、理解の定着を図る。

**4. 授業計画（全15回）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **回** | **テーマ** | **内容** | **講義方法** |
| 1 | 高齢者の特徴と加齢変化 | 加齢による身体的・精神的・社会的変化の理解  高齢者ケアの基本的視点の確認 | 講義・ディスカッション |
| 2 | 高齢者の栄養・食事援助 | 栄養状態の評価、嚥下機能の変化  食事形態の選択、食事介助の実践 | 講義・実技演習 |
| 3 | 口腔ケアの重要性と実践 | 口腔衛生と全身の健康の関連  義歯の取り扱い、誤嚥予防のケア技術 | 講義・実技演習 |
| 4 | 排泄援助（排尿・排便） | 排泄障害の種類と原因、適切な排泄援助の方法  排泄日誌の活用、下剤の使用とリスク | 講義・グループワーク |
| 5 | 入浴・清拭の援助 | 高齢者の皮膚特性を踏まえた入浴・清拭の実践  安全な入浴支援の方法 | 講義・実技演習 |
| 6 | 高齢者の皮膚・褥瘡予防 | 皮膚の特徴、スキンケア  褥瘡予防のポジショニングや体圧分散技術 | 講義・実技演習 |
| 7 | 睡眠と休息の援助 | 睡眠障害の特徴  環境調整・生活リズムの整え方  リラクゼーション方法 | 講義・ディスカッション |
| 8 | 体位変換と移動・移乗 | 身体可動性の評価  ポジショニングの重要性  安全な移乗・移動介助技術 | 講義・実技演習 |
| 9 | 転倒予防とリスク管理 | 転倒リスクの評価方法  環境整備、転倒予防体操の導入  安全な歩行支援技術 | 講義・実技演習 |
| 10 | 認知症高齢者のケア | 認知症の基礎知識  認知機能低下に伴う日常生活支援  BPSD（行動・心理症状）への対応 | 講義・グループワーク |
| 11 | 高齢者のコミュニケーション | 聴覚・視覚の変化を考慮したコミュニケーション技術  非言語的コミュニケーションの活用 | 講義・ディスカッション |
| 12 | 高齢者の疼痛管理 | 疼痛の特徴、評価方法（痛みスケール等）  薬物療法・非薬物療法の活用 | 講義・グループワーク |
| 13 | 在宅療養と家族支援 | 在宅ケアの実際、介護者支援の重要性  レスパイトケアの利用、地域資源の活用 | 講義・ディスカッション |
| 14 | 終末期ケアとエンド・オブ・ライフ・ケア | ターミナルケアの基本  アドバンス・ケア・プランニング（ACP）  グリーフケア | 講義・グループワーク |
| 15 | 老年看護の実践演習 | 事例を用いた総合演習  日常生活援助技術の統合  問題解決能力の向上 | 実技演習・グループワーク |